



上田薬剤師会 発

薬剤師の

ちょっと薬に立つお話

YAKUNI
TATSU
OHANASHI
VOL.61

Vol.61

地域の皆さんの健康のために
さまざまな活動をしている
上田薬剤師会から、
健やかな毎日をつくるために
ちょっと役立つお話を
お届けしていきます。

毎月「第2土曜日」の
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!

今月のTOPICS

ご存じですか?

ブラウンバッグ運動

「ブラウンバッグ運動」とは、米国で1980年代に始まった運動です。患者さんが所持している医薬品を薬局に持参し、薬剤師がそれらの相互作用などをチェックして医薬品の適正使用を啓発する活動です。

外から中身が見えないよう「茶色の紙袋」に入れたことから、「ブラウンバッグ運動」と呼ばれています。

上田薬剤師会の会員薬局では、かかりつけ薬局以外の薬局で調剤されたものでも、自宅に残っているお薬などをバッグに入れてお持ちいただくことで、薬の整理、処方日数の調整、不要な薬の廃棄などを行っています。

バッグは会員薬局でさし上げていますが(右写真)、どんな袋でも大丈夫です。



詳しくはかかりつけ薬剤師・薬局におたずねください!



上田薬剤師会
「認定基準薬局」
の目印、グリーン
クロス看板

はい、お答えします!

Q. 今年1月に入ってからインフルエンザのワクチン接種を受けようと、いつも通っている病院に電話したのですが、ワクチンは12月で終わってしまったと言われました。何軒か電話して何とか予防接種は受けられましたが、薬局ではインフルエンザのワクチンに代わるような薬は置いているのでしょうか? (上田市上田・44歳・女性)

A. 残念ながら、インフルエンザのワクチンに代わるような薬はありません。インフルエンザワクチンは毎年、その年に流行しそうな株(インフルエンザの種類)を予測して製造するため、数が限られています。確実に予防接種をご希望の方は、前もって医療機関に相談の上、予約できる場合はされたほうがいいでしょう。

Q. 風邪の症状で質問です。私の場合、いつも発熱、だるさ、のどの痛みから始まります。前回の風邪の時に薬剤師さんに教えてもらった市販薬がまだ余っていたので、飲んだらすぐに熱が下がりました。しかし今回は長引き、今は咳と鼻水です。同じ薬を飲み続けているのですが改善しません。症状に合わせて薬を変えた方がよいのでしょうか? (東京都・30歳・男性)

A. 風邪には様々な症状があります。初期に現れる症状もさまざまです。お薬の配合によって効果的に症状を改善するものを選択することがいいでしょう。また長期間症状が続く場合は、医師への受診をお勧めします。詳しくは、かかりつけ薬剤師・薬局に相談しましょう。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

ハガキ 〒386-0012 上田市中央6-3-41
週刊うえだ「はい、お答えします!」係
メール weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp
FAX 0268-22-6201



10/17(水)~10/23(火)は

特集 薬と健康の週間です

医薬品や薬剤師等の専門家の役割に関する正しい知識を広く国民の間に浸透させることにより、国民の保健衛生の維持向上に寄与することを目的として、厚生労働省、都道府県、日本薬剤師会などが主催して10月17日からの一週間を「薬と健康の週間」としています。毎年「薬祖神祭の日」である10月17日を初日としています。

お伝えしたい主なポイントは...

■薬は正しく使きましょう!

■かかりつけ薬剤師・薬局を持ちましょう!

これらは上田薬剤師会では普段から取り組んでいる内容ですが、この時期には店頭でポスターなどを掲示し、なおいっそうの啓発を図ります。

この機会にあらためて「かかりつけ薬剤師・薬局」には、どんなメリットがあるか考えてみましょう。薬剤師の岩下靖太郎さんに聞きました。



▲厚生労働省のポスター



「かかりつけ薬剤師・薬局があれば」

▶複数の医療機関にかかっても安心

どこの医療機関を受診しても、
▶処方された薬に重複がないか
▶飲み合わせが悪くないか
▶これまでの履歴から副作用の危険性がないか
—などを容易にチェックできます。ふだんから顔を見てさまざまなお話ができる関係があれば、会話から新たな症状に気づいたり、解決できるケースもあります。

▶サプリや健康食品に関するアドバイスできます



テレビショッピングで買ったとか、友人に勧められたとか、温泉の売店でつい買っちゃったとか、そんなサプリや健康食品ってありますよね。

せっかくお金をかけているのに、しばらく使用しても効果がなければ「やめてもいいんじゃないですかね」といった助言もします。

かかりつけ薬剤師は、体調や状況をていねいに聞いて、たとえみんなに良いことであっても、ご本人に本当に必要なかどうかをアドバイスすることができます。

▶小さなお子さんのいる家庭は安心!!

「かかりつけ薬剤師・薬局」は、医療機関にかかる機会の少ない若い人には、まだまだ浸透していない感があります。もっと有効利用してほしいですね。

お子さんが小さいと、怖いのはアレルギーです。薬の中には牛乳アレルギーの子どもにはダメなものもありますし、症状が急変した場合に、かかりつけ薬局を決めておくこと服用歴もすぐわかり、薬だと思えます。「時間外に電話で相談できる」のも安心です。



▶夜間に受診した場合も安心!

夜間に緊急医を受診して、医療機関から「かかりつけ薬局ありますか?」と聞かれたときに、他の患者さんよりも処理が速くて早く帰ってこれたという話を聞いたことがあります。夜間は調剤可能な薬局を探すのに手間がかかるからでしょうね。かかりつけ薬剤師・薬局は、時間外でもきちんと対応してくれるから安心です。

とにかく「顔が知れた関係」であるかかりつけ薬剤師・薬局には、なんでも相談して、頼ってほしいです。何かしらお役に立てます!!